

#### 調査目的

全国の大学生・大学院生に、  
学生生活や今後の暮らし方・働き方の希望などについてたずね、  
大学生・大学院生の価値観・ライフスタイルの特性を把握し、  
働く場や学ぶ場への提言につなげるための基礎資料とする。

# 調査概要

調査対象：全国の大学生・大学院生

調査方法：インターネットアンケート調査

調査期間：2008年9月22日～9月29日

サンプル数：2000

※性・学年・地域別のサンプル数は  
文部科学省「学校基本調査（平成20  
年度）高等教育機関統計表」に基づ  
き割付を行った。



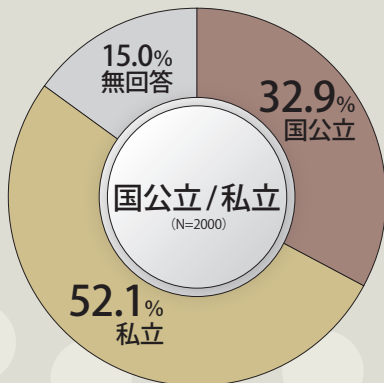
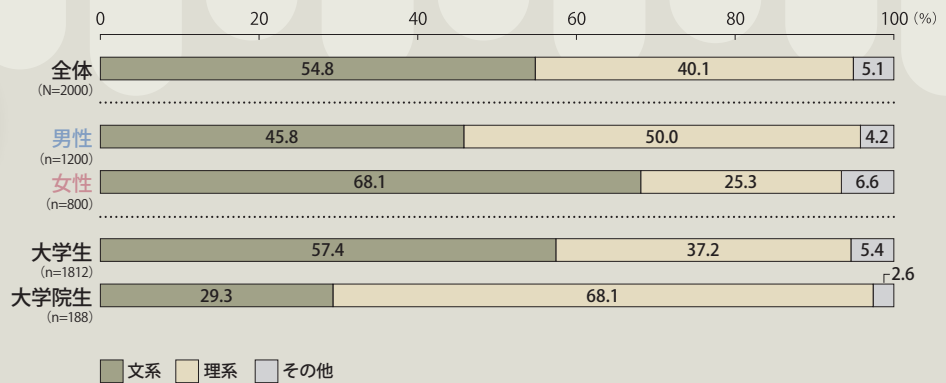
性別・学年



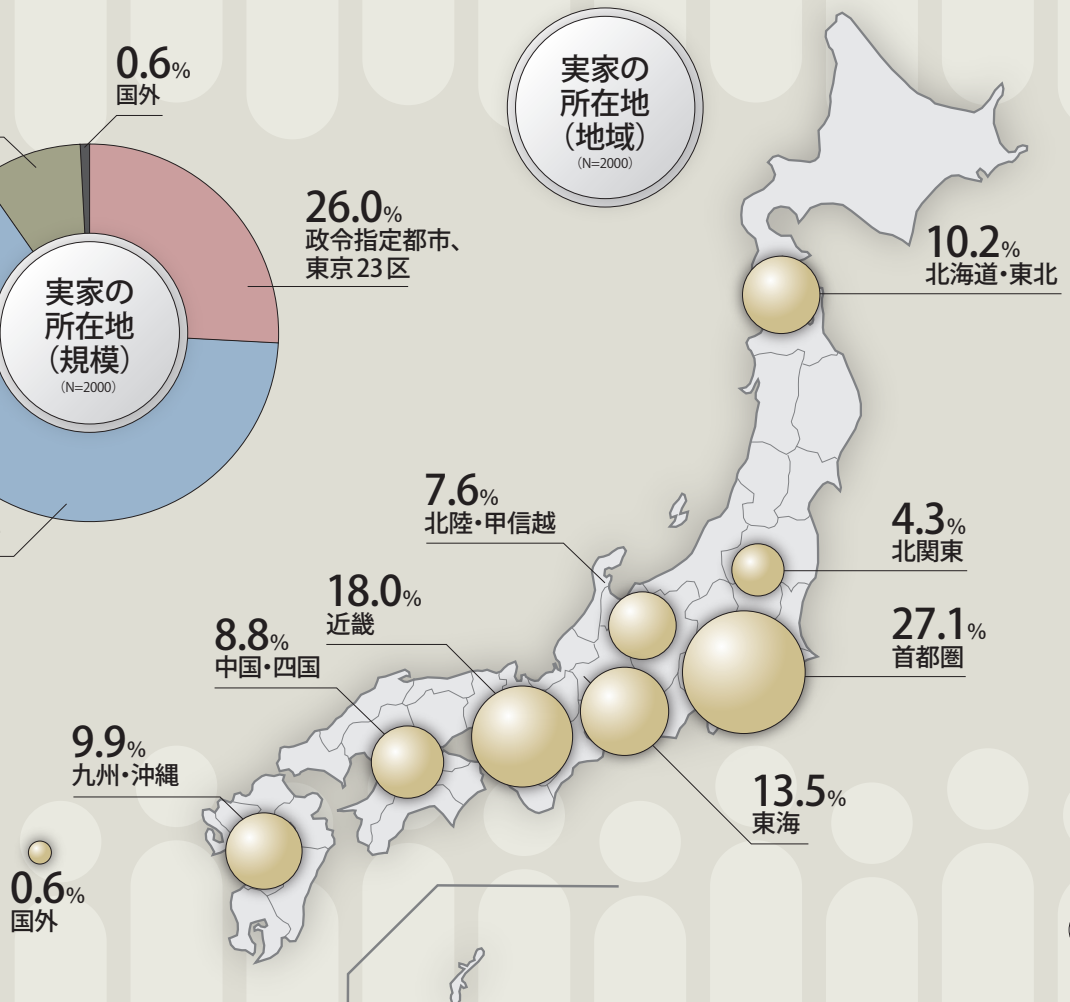
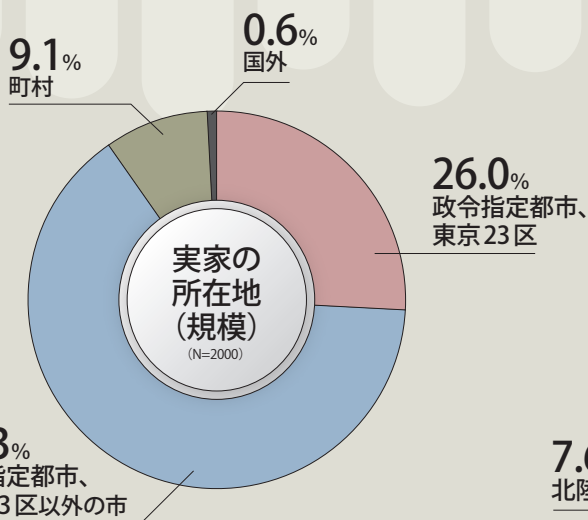
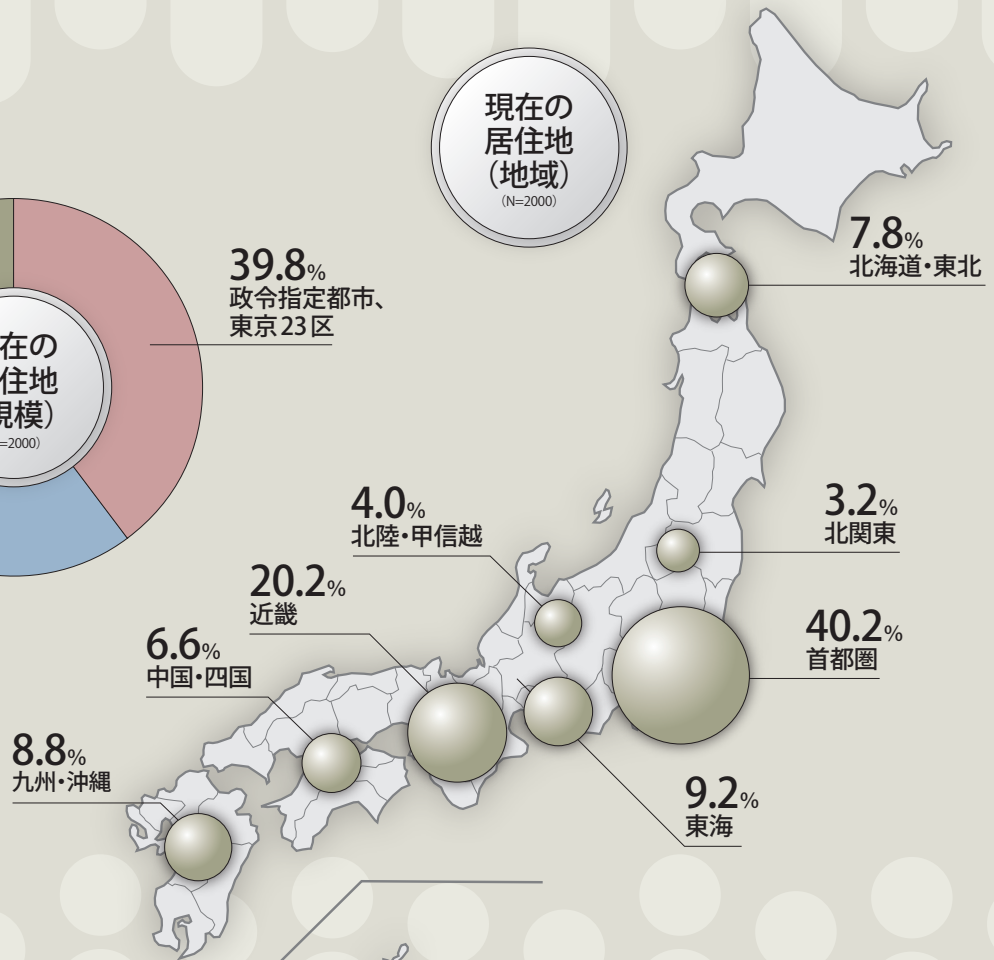
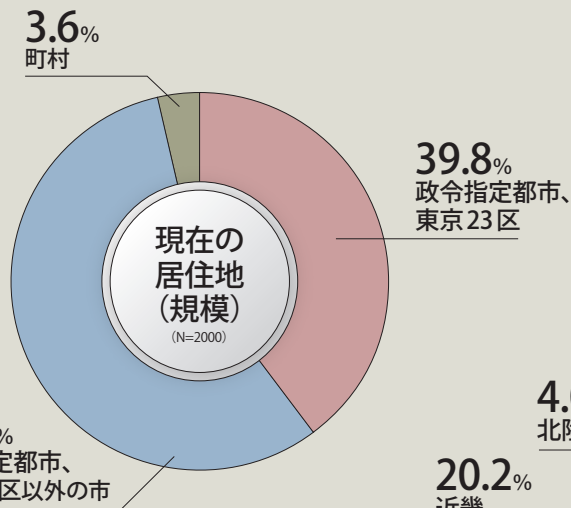
	男性	女性	計
大学1年生	259	189	448
大学2年生	262	185	447
大学3年生	254	181	435
大学4年生	293	189	482
大学院修士1年生	64	27	91
大学院修士2年生	68	29	97
計	1200	800	2000

# 回答者のプロフィール

専攻学科

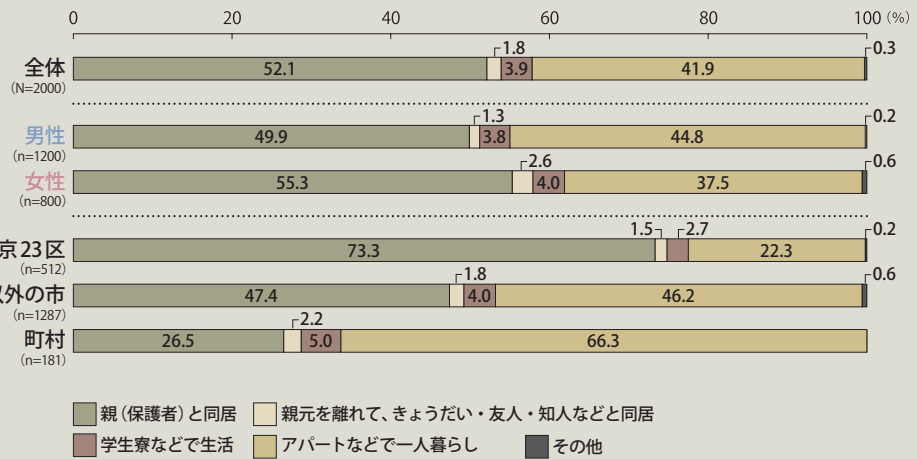


※通っている大学/大学院(自由記述)から、振り分けた。



# 居住形態

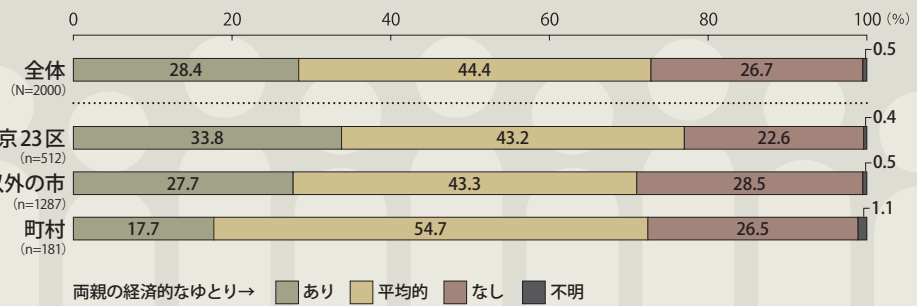
実家の所在地



全体の約半数が親と同居している。同居率は男性より女性で高く、大学院生より大学生で高い。実家の所在地が大都市の場合、同居率は7割強と高い。

# 両親の経済的なゆとり

実家の所在地

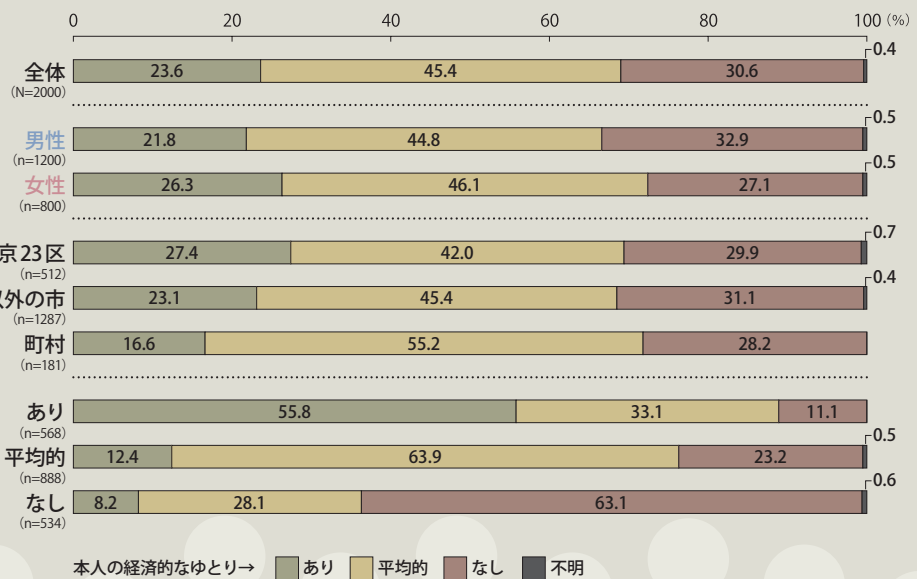


全体では「平均的」が4割強を占める。実家の所在地が大都市の場合で「ゆとりがある」とする割合が高い。

# 本人の経済的なゆとり

実家の所在地

両親の経済的なゆとり



全体では「平均的」が半数近くを占める。男性より女性で、また実家の所在地が大都市の場合で比較的「ゆとりがある」とする割合が高い。また両親の経済的なゆとりとの関連が非常に高い。